



3

ポリエチレン管接合部分の、水密性の確認をするため、検査【気密試験】を実施しました。

気密試験実施



マンホール内 止栓



負圧状態 (-70Kpa) で1時間保持



◆気密(真空)試験について

管路の両端に栓を着け、その管路の中の空気を真空ポンプにより吸い込んで、管路内を所定の負圧状態とします。
《電気融着接合が不完全であれば、その部分から管の外の空気を吸い込んでしまうため、管内が負圧状態になりません》
さらに、この状態を1時間保てるかどうか確認(圧力低下が3%以内であることを確認)し、管の水密性を検証しています。

舗設



4

最後に舗装の復旧をしました。



路盤転圧



【お問い合わせ先】

施工者：株式会社 サカタ
広島市中区西白島町4番20号
TEL (082) 228-9892

発注者：広島市環境局施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL (082) 923-6011

恵下埋立地（仮称）浸出水放流管建設工事28-2

工事便り No.3

2017年 12月版【最終号】

広島市環境局マスコット：あらら



工事は皆様のご協力により完成に至りました。ありがとうございました。

施工位置図



マンホールNo.60付近からの比較写真です。

着手前



完成



☆工事内容のご紹介☆

前号では、小口径推進工（トンネル工法）まで紹介しましたので、最終号は、マンホール工以降の工事内容を紹介します。

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
準備工							
立坑工・薬液注入工			お				
推進工			盆				
マンホール工			休				
開削工			み				
付帯工							



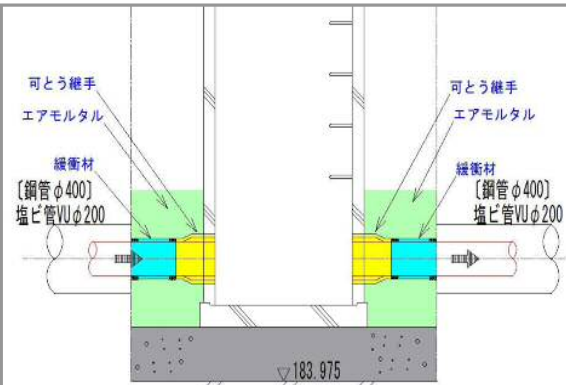
1

管路の点検口として、マンホールを4箇所設置しました。浸出水に含まれる塩分により、コンクリートが劣化しない耐性をもたせるため、『クロロガード』という混和材を使用した、耐塩害性マンホールを使用しています。

材料確認



躯体設置



継手は耐震性と止水性を考慮した構造



可とう継手+緩衝材設置

管口はシリコン樹脂成分のシーリング材で仕上げています



インバート完了



エアモルタル打設完了



2

開削工法で200ミリのポリエチレン管を約250m布設しました。

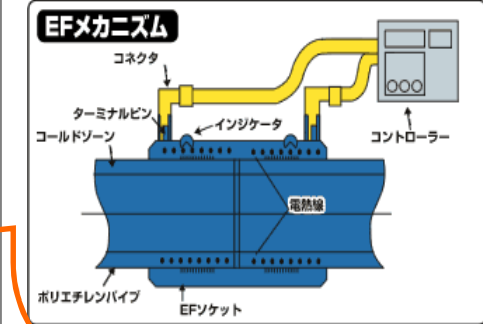
材料確認



接合部は電熱によって融着・接合するEF接合方式で、接合部が強固に一体化でき、高い水密性を確保します。



管接続・融着状況



内部イメージ



融着中 (コントローラ)



融着完了



それ以外は砕石で埋戻転圧



管周りは水砕スラグで埋戻転圧

